



お元気ですか！
志村 たかよし です

第889号 2018年5月20日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

5・3 憲法集会に6万人

9条改憲NO！ 平和といのちと人権を！



憲法記念日の5月3日、全国各地で集会やパレード、宣伝など多彩な行動がとりくまれました。

江東区の東京臨海防災公園で開催



かれた「9条改憲NO！ 平和といのちと人権を！ 5・3 憲法集会」には、子どもづれの夫婦や若者らが次つぎとつめかけ、昨年を超える6万人が参加しました。

集会では、団体や個人のあいさつとともに、日本共産党の志位和

夫委員長、立憲民主党の枝野幸男代表、民進党の大塚耕平代表、社民党の又市征治党首が連帯あいさつし、参加者とともに「憲法9条改憲反対！」「安倍政権は今すぐ退陣！」とコールしました（写真）。

自由党の小沢一郎代表はメッセージを寄せました。

あいさつで志位委員長は「安倍首相は、内政、外交ともボロボロで末期状態です。しかし9条改憲だけは絶対にあきらめようとしな。この旗を捨てた途端に内閣が瓦解するからです。それなら国民が引導を渡してやろうではありませんか」と、9条改憲をめぐる安倍政権と国民との歴史的な対決局面を強調しました。



あいさつする志位和夫委員長

「中央区ヒストリー」① 中央区の歴史は江戸時代から

こちらへんで、ちよつと息抜きを
しましょう。

中央区は、このほど「中央区区政
要覧2018」を発行しました。

中央区のまちづくりを検証するう
えで、中央区の歴史をつかむことが
大事だと思います。

「区政要覧」の記事や図などを活
用して「中央区ヒストリー」を作っ
てみました。

*

*

中央区の歴史は徳川家康の江戸入
城に始まります。



「中央区区勢要覧2018」の表紙

以来、江戸・東京の中心地として
日本の経済・文化の繁栄を支えてき
ました。

江戸時代から現代まで、400年
以上に及ぶ中央区の歩みを振り返っ
てみましょう。

江戸幕府、天下普請で

江戸のインフラを整備

天正18年（1590年）、徳川家
康の江戸入城から中央区の歴史は始
まります。

当時の江戸は、葦の生い茂る荒地
で、現在の中央区に当たる地域も、
その大部分が海か浜辺でした。

家康はまず城下町の整備を進め、
その後天下普請と呼ばれる江戸城の
建設や埋め立てを開始。これをきつ
かけに江戸のまちもインフラ整備が
進み、神田山（駿河台）を切り開い
て豊島の洲崎を埋め立て、浜町の辺
りから南新橋に至る隅田川に沿った



東海道 一五十三次 日本橋一（京橋図書館所蔵）

一帯が出来上がりました。

日本橋や京橋もこのころ架けられ、
慶長9年（1604年）には日本橋
を基点とする五街道制が敷かれ、日
本橋・京橋一帯は交通、通信、経済、
文化、商業の中心として発展してい
きます。

天下普請は徳川三代40年にわたっ
て続けられ、現在の日本橋・京橋エ
リアの大部分が完成します。

正保元年（1644年）には、隅
田川河口の三角州が埋め立てられ、
佃島もできました。

佃島は、江戸時代初期に、徳川家
康が江戸へ呼んだ摂津国西成郡佃村
の漁師たちが築いた島です。

漁師たちはここで漁を行い、白魚
を将軍家に納め、魚河岸でも商売が
できるといった特別な権利を幕府か
ら与えられていました。

また佃島の隣にある石川島には、
江戸時代末期に日本初の造船所が作
られ、明治以降、この一帯が重工業
の工場地帯として発達する足掛かり
となりました。

（つづく）



東都名所 佃島入船ノ図（京橋図書館所蔵）

掲載図は「区勢要覧」より